

オンラインレクチャーへようこそ

## I タコ踊り

オンラインレクチャーへようこそ！ さて、皆様はこれから ICU 受験対策を始めるわけであるが、ここで今一度ICU入試とは何かを考えてみたい。よくICUはユニークな大学で、ICU の入試はユニークだ、と言われるが、これは誤解を生みやすい表現である。確かに総合教養など他大学にはないユニークな問題を含む科目や、人文科学や社会科学のように非常に長い論文を読ませる科目などは、他の大学入試では見られないものである。そのような意味で、ICU 入試はユニークである。

ただし、この「ICU 入試のユニークさ」は、「受験生の答えのユニークさ」を要求してはいない。つまり、ICU の入試で求められるのは芸術性などではなく、如何に4つの選択肢から正しいものを選べるかというものである。例えば「私はタコ踊りが得意で、試験中はタコ踊りをしながら、タコ踊りに即した選択肢を塗るのが得意です」などという受験生はとてもユニークで、ぜひお会いしてみたいものであるが、このタコ踊りマークの能力と、4つの選択肢の中から正しい答えを選ぶ能力とは関係がない。クネクネ体をくねらせ、見事にタコの遊泳を表現しても、ICU 入試では評価されない。

タコ踊りが評価されない理由は誰でも分る。ICU 入試はユニークであるが、試験で求められている答えはユニークではない。求められているのは、正しい答えであり、ユニークな答えではない。あなたはユニークな人間かもしれないが、求められている答えはユニークなものではない。むしろ正しい答えとは大半の受験生の選ぶ、いわば"ordinary"なもので、ここを誤解してはいけない。もっと突き詰めると「ユニークな勉強法」も求められていない。

## II タコ踊りの恐怖

さて、理性的な受験生であれば、タコ踊りの練習などしてもICU入試には役立たないということは分るが、ICU入試対策には形を変えたタコ踊りが多数存在している。

自分が高校生の頃には、当時あったICU関連の塾に全て通っていた。ある塾では「今日は数学ですので、電卓の使い方を勉強しましょう」などといって、電卓の使い方に丸一日を使った（笑えない話だが、本当にこのような授業をする自称予備校が実在する）。同じ塾の英語講師(アメリカ人)は「洋書のノンフィクションを読み、分らないことがあったら"The World Almanac" (アメリカのイミダス、知恵蔵のような本)を調べてみよ、英語で調べれば知識と英語力の両方について役立つ」としきりに勧めていた。別の塾では教師が入れ替

わり立ち替わり登場し、ある教師は「四文字熟語を覚えよ」「百人一首を暗記せよ」「有名な短歌を覚えよ」といい、また別の教師は「普段から本を読め」「英字新聞を読め」「主要教科の教科書を1から勉強し直せ」などと好きな事をのたまう。

実際のところ自分も情報に飢えた必死な受験生だったので、これらの勉強を全て実践してみようとしたが、結局のところ全て挫折した。はっきりいってこれらの勉強を1年間でこなすのは絶対に無理だ。10年あっても無理かもしれない。実践できず、結局役に立たないのであれば、これは「タコ踊り」と変わらない。この「タコ踊り」は巧妙にできていて、塾側は「1年では絶対できない課題」を課し、合格できなかったのは努力が足りなかったからとし、受験生のナーバスな心理につけ込んでうまく責任を回避している。自分は当然のようにICUに不合格となった。

結局のところ「ICUの入試の漠然としたユニークさ」から、「講師から提供されるユニークな勉強法」さらに「(定義すらされていない)教養を身につければICUに合格できる」という曖昧な指導を真に受け、「タコ踊り」をさんざん踊って受験に失敗した。

### III タコ踊りをしないために

その後自分は浪人生となったわけだが、浪人の時の受験勉強を振り返ると、現役の時の失敗を踏まえ、全く違う勉強をした。現役時は講師の言われるままに無駄の多い対策を行い、結局「教養」と称する漠然とした作業に没頭してしまった。

その反省から、浪人の時とにかく毎週過去問を1科目でもいいので、少しずつ解いていくことによって常にICU入試を意識するようになっていた。このことによって、どうしたらこの問題でより多く得点できるか、どうしたらよりスピーディーに問題を解けるかなどということが常に頭の中であり、結果的に最後まで脱線せず、自分で勉強の方向性を修正しながら受験を迎えることができた。結局のところICU受験対策で一番有効なのは、当たり前ではあるが過去問の数をこなす、普段の受験勉強を入試そのものに活かしていくことである。

実際自分の受けた翌年の入試では、試験後に絶対受かったという自信を持って合格することができた。またその2年後には同じ高校出身の家族も現役でICUに合格した。その後オンレクを通して多くの受講生をICUに送り込むに至っている。また、2009年度から早大慶大等の併願校の研究を始め、すべての大学に合格している。2015年度にはICUの入試制度が変更されたので、もちろん再度受験して合格した。

#### IV オンレクの実際

オンレクは徹底した効率主義に基づいており、ICU に合格するという目的のためにレクチャーを開講する。正直、個人的には高校生には教養や人生観を身につけていただきたいという気持ちもあり、しばしば「教養」の誘惑に駆られるが、それはオンレクの目的ではない。受験対策は大学に合格することにフォーカスを置くべきだと考える。先にも述べた「電卓タコ踊り予備校」の話になってしまうが、どんなにすばらしい崇高な理念を持って受験生（+かなり高額な授業料）を集めて自称予備校を開いても、一人でも多くの受験生を合格させようという努力をしない予備校は全くのナンセンスだと思う。教養講座と受験対策講座を混同してはいけない。

オンレクの目的はICU に合格すること、一般入試で上位 500 番以内に入る能力と技術を手に入れることである。能率を徹底的に追求していくと、ICU に入試に近い問題を如何に解いていくかと言うことになるが、それは過去問演習を徹底して行うという結論に行き着く。毎週ICUの入試を疑似体験することで、ボーダーを明確にし、ICU入試に順応できるとともに、「次の週もICUの入試がある」という意識があれば、どのようにしたら高得点を出せるか、どのようにしたら解答のスピードとあげられるかといったアイデアが常に浮かぶはず。またテキストも全問を解説し、正答率および難易度が明確であるため、どの問題が必要で、どの問題が不必要であるかが自然に見えてくる。

また、過去問そのものから学べる部分が非常に大きい。過去問演習は最後の仕上げとして扱われる傾向があり、受験直前に解く受験生が多い。確かに手元に3年分しかなければ、今すぐ解いてしまうより、試験直前に解いて、学力が付いたベストな状態で過去問を解いてみたいと思うかも知れない。しかしICU入試ではこの方法は必ずしも効果的ではない。過去問を解き始めるなら、受験を決意した時から始めるべきだと思う。

#### IV オンレクをはじめるにあたって

オンレクの目的はマニアックな暗記や名ばかりの教養などに走らず、とにかく正攻法で、オンラインでの受験体験という財産を武器に ICU 受験をクリアすることが目標である。何度もボーダーを飛んで、ボーダーの高さを知り、10 年かかるような対策をして最上位での合格を狙わず、現実的にできる対策で上位 500 人に入る。

オンラインレクチャー受講生には、過去 20 年分を越える過去問とその詳細な解説がいつでもアクセスできる場所あり、この膨大なデータにアクセスできるだけでもすでに ICU 入試における圧倒的なアドバンテージを得ている。そしてまずは過去問を 1 年分解いてみて欲しい。過去問 1 年分を演習し、復習し、理解することで、非常に多くの事を学べるといことがわかると思う。

#### V 最後に

まずは、1 科目だけでもよいので、とにかく継続していただきたい。一週間で 1 科目が厳しかったら、二週間でも三週間でもかけて、ゆっくりでもよいので解いてみてほしい。オンラインレクチャーでは何をやったらよいかは曖昧ではない。過去問演習の量をこなした人が合格できるよう設計されている。

最後にぜひ楽しんでオンレクを受講いただきたいと思う。学内のレポートやコラム等を載せるなどして、楽しめる内容にしたいと考えている。ただし今年度は「深夜のバカ山でこっそりタコ踊り」はいっさいやりませぬ。来年度もやりませぬ。お互いががんばりましょう。

BUCHO

## Update

2006 年度入試向けオンレクは以下のような改良を行った。

- ・ 解答・解説を全面的に見直した。多くの解答解説において加筆、改稿を行った。特に難易度の設定を各問題に設けた。
- ・ 学習の指示を明確にするため、各問題の重要箇所を「学習のポイント」として明記した。
- ・ 一部のテキストで採用していた、人文・社会学のテキストに論文構造を示す summary を 1st Term の全てのテキストに明記した。

2007 年度入試向けオンレクは以下のような改良を行った。

- ・ 全ての Term にオンラインで個人成績の履歴を参照できるシステムをデフォルトで導入した。
- ・ 一部解答ファイルのレイアウトを見やすく改善した。
- ・ 一部解答ファイルの「難易度」を見直した
- ・ 人文・社会学のテキストに論文構造を示す summary を全てのタームのテキストに明記した。
- ・ 人文・社会学の問題に対し、「問題推奨度」の導入を試験的に行った。これにより推奨度の高い年度のみを選択的に学習できるようになった。

2008 年度入試向けオンレクは以下のような改良を行った。

- ・ 効率的に学習を進めるため、推奨度の高い問題を明記したコースを用意した。
- ・ 毎週のレクチャーごとのプログラム UP を見直し、Term ごとに全ての問題をどのタイミングでも学習できるようにした。これにより選択的に学習が進められるようになった。

2009 年度向けオンレクは以下のような改良を行った。

- ・ 動画レクチャーを一部重要コンテンツに導入した。
- ・ 難易度・推奨度の見直しを全面的に行った

2010,2011 年度向けオンレクは以下のような改良を行った。

- ・ 全てのリーディングのテキスト (Part II は除く) に、ボイスエイドを付けた。これによりリーディングの問題を、音声を伴って学習することが可能になった。

2012,2013 年度向けオンレクは以下のような改良を行った。

- ・ 自然科学の一部科目に対応
- ・ 学習を継続するためのモチベーションキーワードをほぼ全ての英語解説に装備
- ・ 全てのリスニング音声ファイルのダウンロード提供に対応

## Welcome to Online Lecture

### 2014 年度向け改良

- ・ボイスエイド人文科学に対応
- ・自然科学対応拡充

### 2015, 2016, 2017 年度

- ・新形式の ICU 入試に完全対応。教材制作者はすべて新 ICU 入試に合格済。
- ・総合教養(ATLAS)をほぼ完全に再現、練習問題を含め、すべての ATLAS 対策問題で約 15 分の講義音声を完備。